

【第三種郵便物認可】

付で相談役に退いたと発表された。ノジマは今期から真電事業部をノジマ本部に統合しており、同事業部トップの真柄氏も経営から身を引く。旧真電店舗は不採算のところが多く、同社は今年二〇〇九年三月期中に六店舗を閉鎖する計画だ。

真電事業部の統合に伴い、新潟市中央区の事務所も今月中に閉鎖した。

ノジマは二〇〇七年三月に真電を吸収合併。営業エリア拡大を狙ったが、想定以上に不採算店舗が多かったため急速な店舗閉鎖を進めている。合併時点で二十一あった店舗は前期末時点で十三まで減少。今期はすでに三条店など四店舗を閉鎖しており、年度末までに七店舗まで減らす。

一方で新潟県内の新

ビックカメラなど大手の進出が予定される新潟エリアへの積極出店には踏み切りづらい情勢だ。

### 景況感、マイナス幅縮小

#### 県内4-6月 製造業が改善

新潟財務事務所が二十三日発表した法人企業景況判断調査で、新潟県内に

景況感を示す景況判断指数は四一六(前月一三三)に比べ、五

五だった。前回調査(一三三)に比べると五

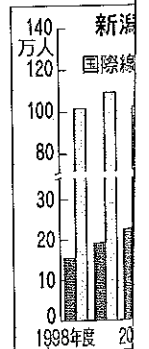
割合を差し引いた数値。五月二十五日時点で調査し、県内百九十四社から回答を得た。

業種別では、製造業が三カ月後の先行きについてはマイナス一八・六

改善を見込んでいる。

国内線では〇七年六月に神戸線が廃止になったほか、中部国際線が十一月に一日三便から二便に

### 9年



十九便増え、利用者数は三五・七%減少。

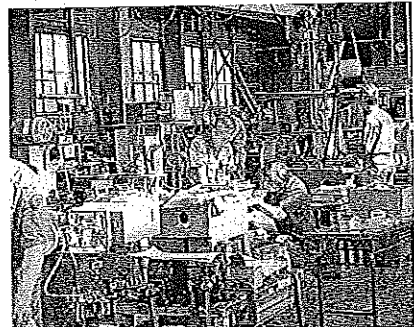
国際ウラジオストク線も二万三千人と過去最高となった。

## 中堅企業 進む 研削盤・納入

工作機械の丸栄機械製作所(新潟県長岡市、岡部恒夫社長)が製造するのは部品などの表面を削って精密に仕上げる研削盤。円筒、内面、ゴムロール、注射針専用など多機種を手掛け、大きさも小型から大型まで多様だ。自動車、航空機部品から医療機器、IT(情報技術)関連まで受注先を広く、景気の荒波をくぐり抜けてきた同社は、世代交代とともに原材料高の打開策に取り組んでいる。

「父が一九三二年に創業したこの会社は、元々小型

### 丸栄機械製作所 (長岡市)



室内工場は小型から大型までの研削盤組み立てに対応

## 研削盤、納入先幅広く

移まで対応。大型機種も手掛けるようになったのは〇四年に円筒研削盤メーカーの宮本製作所(長岡市)の経営を引き継いだからだ。宮本製作所の従業員十七

客に対するのは徹底した受注生産で景況に左右されることが少ない。ある程度ユーザーを限定して、顧客の要望に合わせた機械をその都度作る。顧客の要望に合わせた機械をその都度作る。顧客の要望に合わせた機械をその都度作る。

「研削盤は業種の好不調は六億円と堅調だ。ところがここに来て原油高で、長岡市内だけの移動ゆえに「受注から出荷まで」と話す。恒夫社長は、開発を効率良く進め、納期を短縮する方針。コストを抑えるとともに顧客のメリット拡大につなげるため、体制を見直す考えだ。

## 新潟

新潟県 0255-3222-1704  
長岡市 0255-81327-1004